

平成29年 春の鎌倉探訪のご案内



第121回 しだれ梅の常立寺と早春の江の島めぐり

開催日 平成29年2月23日 (木)

集合 午前10時30分 JR 大船駅 南改札前(ルミネ前)

コース 湘南モノレール・大船駅～湘南モノレール・湘南江の島駅→常立寺→江の島弁天橋
→江島神社・辺津宮→中津宮→コッキング苑(昼食)・シーキャンドル→奥津宮
→湘南モノレール・湘南江の島駅～湘南モノレール・大船駅 (16時頃解散)
(→は徒歩。江の島内の移動はエスカーを使い、歩行負担を減らしました)

ポイント 江の島を臨む温暖な湘南の寺に、春の魁しだれ梅を訪ねます。拝観後は江の島に渡り、江島神社の三つの宮を巡ります。明治の外国人貿易商が営んだ庭園の名残を楽しみ、植物園を散策しながら、若者に人気の塔シーキャンドルに登り、早春の海と富士山を眺めます。

主な見どころ

常立寺：享禄5年(1532年)創建の日蓮宗寺院。北条時宗に処刑された元国使杜世忠らの元使塚があり、モンゴル出身力士が参拝に訪れている。しだれ梅の名所。

江島神社：欽明天皇13年(552年)の始まりと伝わり、日本三大弁財天の一つがある。三姉妹の女神がそれぞれ辺津宮(田寸津比賣命)、中津宮(市寸島比賣命)、奥津宮(多紀理比賣命)に祀られている。江戸時代以降、庶民の参詣が盛んとなり、現在も芸事等の神様として信仰されている。

コッキング苑：英国人貿易商サムエル・コッキング氏が明治時代に江の島に建てた別荘には、大きな温室があった。その遺構や植物採集により持ち込まれた樹木等が名残を留め、和洋折衷の南国風植物園となっている。

シーキャンドル：2003年4月リニューアルオープンした江の島の展望灯台。展望室は海拔100メートルで、海上360度の見晴らしは抜群。

申込期限 平成29年2月16日(木)までに
同封の「参加申込書」またはFAX 03-6240-9382で日退協事務局までお申込み下さい。

- ◆ 参加費 **2,000円**(ガイド料及び江の島1day パスポート代含む) ご夫婦は**2人で2,500円**。
- ◆ ガイドはNPO 法人鎌倉ガイド協会会員です。
- ◆ 軽装にて、昼食や飲み物は各自ご持参下さい。
- ◆ 小雨決行。
- ◆ 集合場所から解散場所まで保険が付保されます。
- ◆ 照会連絡先 **藤崎 大四郎** 携帯 **090-2338-3231**
- ◆ 会員でない方も大歓迎です。

★お願い ペットボトルキャップ・書損じはがき、使用済み切手があれば、多少にかかわらずご持参下さい。